

アンサンブル東風

第25回定期演奏会

2025

3/13 木

19:00開演(18:15開場)

プレトーク 18:30~18:45

豊洲シビックセンターホール
(豊洲文化センター5階)

・東京メトロ有楽町線「豊洲」駅7番出口より徒歩1分
・新交通ゆりかもめ「豊洲」駅改札フロア直結

奇想の カール ニバル

Ensemble KOCHU
fantastic carnival

ジャン・フランセ
《コール・アングレ四重奏曲》

Jean Françaix: *Quatuor pour cor anglais, violon, alto et violoncelle* (1970)

フレイ・ウエドルド

《ノクターンマニア》

ショパンのノクターンOp.37, No.1に基づく幻想曲
(公募入選作品・世界初演)

Frej Wedlund: *NOCTURNOMANIA*

Fantasy on Frédéric Chopin's Nocturne Op.37, No.1 (2024)

ブライアン・ファニーボウ

《イカロスの墜落》

独奏クラリネットと室内アンサンブルのための
Brian Ferneyhough: *La Chute d'Icare*
for solo clarinet and chamber ensemble (1988)

C.サン＝サーンス

川島素晴・小坂咲子・田村文生

《シン・動物の謝肉祭》

Camille Saint-Saëns/M.Kawashima, S.Kosaka, F.Tamura:
Le Nouveau Carnaval des Animaux (1886/2025)

「序奏と獅子王の行進曲」「雌鶏と雄鶏」
「驃馬」「亀」「IPS細胞(田村作曲)」
「象」「カンガルー」「水族館」
「STAP細胞(田村作曲)」
「耳の長い登場人物」
「森の奥のカッコウ」「大きな鳥籠」
「マイクロプトル(小坂作曲)」
「ピアニスト」「化石」「鬼(川島作曲)」
「白鳥」「終曲」

イープラス

Peatix



全自由席 一般 3,500円 / 学生 2,000円

●未就学児のご入場はご遠慮ください。●公演内容については一部変更になる場合がございますので、ご了承ください。

助成 公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

アンサンブル東風が呼ぶ奇想のカーニバル到来

フランスは20世紀の作曲家ながら新古典主義的作風を貫いたが、誰が聴いてもフランスの音楽とわかるウィットとエスプリがきいたオリジナリティを有しており、まさに「奇想」という言葉が最適な作曲家である。

対してファーニホウは、「新しい複雑性」の旗手として奇怪なまでの複雑な楽譜を書くことで知られる。翼をつけたイカロスが飛びきれずに墜落するギリシャ神話を題材とした、これまた奇想に満ちた音楽である。公募作品はスウェーデンのウェドルド氏による、ショパンのノクターンを下敷きとした音楽に決定した。ショパンの亡霊による夜想曲といった趣で、まさに奇想の極み、本企画テーマにうってつけの作品である。《シン・動物の謝肉祭》は、作曲メンバーが新編曲することに加え、「細胞」「恐竜」「鬼」を新たに作曲して組み込んだもの。元祖「奇想のカーニバル」と言うべきサン=サーンスのそれに、更なる奇想を上書きする。あらゆる方向から奇想が繰り広げられつつ、細胞、動物から亡霊まで、生命の多様性への讃歌を歌い上げる一夜。



アンサンブル東風第25回定期演奏会 公募作品作曲家

Frej Wedlund

Frej Wedlund, composer

スウェーデン中北部の都市エステルサンド出身。ストックホルムの王立音楽大学とデンマーク王立音楽アカデミーで学び、2018年からはコペンハーゲンを拠点に移す。柔らかく、壊れやすく、親密な音楽の作風に、近年では音楽分野における間テクスト性(あるときはスペクトラリズムと超陰鬱なアンビエント、またあるときはメランコリックなブルース、現代の微分音音楽)が様々な形で影響を及ぼしている。作品は、アルディッチィ弦楽四重奏団、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、アンサンブル・ルシエルシュなど、多くのアンサンブルにより、mise-en、Nordic Music Days、Gaudeamus、Mani Festeなどの音楽祭で演奏されてきた。作品のほとんどは、デンマークの出版社Edition Sから出版されている。



アンサンブル東風
オーボエ

中江 暁子

Akiko Nakae, Oboe

京都市立芸術大学音楽学部卒業、桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了、桐朋学園大学研究科修了。オーボエを伊賀上文子、岩崎勇、渡邊潤也、嶋崎耕三の各氏に師事。コブレンツ国際音楽祭に参加、同祭オーケストラに出演。ヴィンフリード・リーバーマン氏、フランチェスコ・ディ・ローザ氏のマスタークラスを受講する等、研鑽を積む。現在、関西の主要オーケストラの客演や室内楽等を中心に、フリーのオーボエ奏者として幅広く活動している。ドルチェ・ミュージック・アカデミー大阪 講師。



アンサンブル東風
クラリネット

大成 雅志

Masashi Onari, Clarinet

京都市立堀川高校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科を経てドイツで学ぶ。イタリアにて催されたカール・ライスター氏の国際マスタークラス受講オーディションに最年少合格。第2回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル受講生代表。第68回日本音楽コンクール・クラリネット部門入選。現在までフリーのクラリネット奏者としてソロ、オーケストラ、室内楽、スタジオなどの演奏活動を行っている。水戸室内管弦楽団、小澤征爾音楽塾、宮崎国際音楽祭、ギドン・クレメル&クレメラータ・バルティカ室内管弦楽団、JTアートホール室内楽公演などに参加。エロイカ木管五重奏団メンバー。

アンサンブル東風

Ensemble KOCHI

松下 功(1951-2018)を中心にベルリンで1983年に結成されたパフォーマンス・グループ『東風(こち)アンサンブル 音響—絵画 ベルリン』にちなんで、1999年、松下を代表に当時の若手作曲家および演奏家によって新たに結成された室内管弦楽団。古典から現代まで幅広いレパートリーを持ち、日本を含むアジアの現代音楽の紹介に積極的に取り組んできた。これまでに国内の定期演奏会、『きままに音楽会』『ながの音楽祭』『アジア音楽週間in横浜』などで公演を行った他、韓国、台湾、タイ、ミャンマー、オランダなどの海外の音楽祭にも出演。2005年、板橋区安養院の『安養院多宝塔落慶祝典』で第九を演奏。2009年、2010年、奈良薬師寺玄奘三蔵院でオペラ《遣唐使〜阿倍仲麻呂》(松下功作曲)を演奏し、反響を呼ぶ。2014年、『アジア音楽祭2014年』にてベストパフォーマンス賞受賞。松下の急逝により、2019年、追悼演奏会『余韻嫋嫋』で《飛天遊》や近年の松下の代表作を演奏。2020年、松下律子が代表に就任し、聴衆と一体になった音楽作りを目指し、活動を展開している。2024年2月には結成25周年記念公演を行い、好評を博した。

姫本 さやか
中江 暁子
大成 雅志
堂山 敦史
平井 志郎
加藤 直明
稲野 珠緒
堀米 綾
及川 夕美
花田 和加子
古川 仁菜
中島 久美
松本 卓以
那須野 直裕
田村 文生
川島 素晴
小坂 咲子
朴 銀荷
長野 麻子
松下 律子

F1
Ob
Cl
Hr
Tp
Tb
Perc
Hp
Pf
Vn
Vn
Va
Vc
Cb
指揮/作曲
指揮/作曲
作曲
作曲
音楽学
代表

アンサンブル東風

第25回定期演奏会

奇想のカーニバル

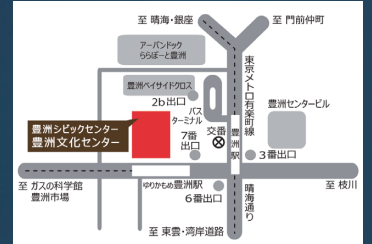


【会場】

豊洲シビックセンターホール
(豊洲文化センター5階)

東京メトロ有楽町線「豊洲」駅7番出口より徒歩1分
新交通ゆりかもめ「豊洲」駅改札フロア直結

〒135-0061 東京都江東区豊洲2丁目2-18



【お問い合わせ/チケット取扱い】

- アンサンブル東風
✉ ensemble.kochi@gmail.com
🌐 https://www.ensemble-kochi.jp/
- イープラス
- Peatix(ピーティックス)

- 主催:アンサンブル東風
- 助成:公益財団法人 朝日新聞文化財団
公益財団法人 ロームミュージックファンデーション
- 後援:一般社団法人 日本作曲家協議会
- 賛助会員:薛博仁 様

アンサンブル東風 第26回定期演奏会 作品公募

2026年アンサンブル東風第26回定期演奏会で初演する室内オーケストラの新作を公募します。締切は2025年9月末です。詳細はこちらにアクセスして、ご覧ください。

